

令和4年度 第3回 鯖江警察署協議会 開催結果

1 日時

令和4年10月4日（火）午後2時から

2 場所

鯖江警察署

3 出席者

鯖江警察署協議会	会長以下	7名
鯖江警察署	署長以下	11名

4 議事

- (1) 警察署長挨拶
- (2) 協議会会長挨拶



署長挨拶



協議会会長挨拶

(3) 議事

ア 協議会提言

【提言内容】

- ① 犯罪の抑止に向けた取組み強化
- ② 総合的な交通事故抑止対策の推進
- ③ 大規模災害など緊急事態対策の充実強化



協議会提言の交付状況

イ 参加体験型の警察活動の視察

- ・ VR等を活用した体験型の交通安全教室
- ・ デジタル機器を活用した特殊詐欺防止対策の広報活動
- ・ 災害モニタ及び災害装備資機材の見学

(4) 質疑応答

ア VR等を活用した体験型の交通安全教室

【委員】

VRを活用した交通安全教室は、実際に運転し、交通事故に遭っているかのような臨場感があり、交通事故防止に大変効果があると感じた。

地区の公民館において、高齢運転者対象の教室等を開催したい場合は、どのようにすればよいのか。

【警察】

VRを活用した体験型交通安全の機械は、現在、警察本部に1セットしかない。

当署交通課に連絡をいただければ、日時を調整して、交通安全教室を開催させていただく。



VRを活用した交通安全教室の状況

イ デジタル機器を活用した特殊詐欺防止対策の広報活動

【委員】

見せていただいた内容は、NHKニュース「詐欺だまされない」のコーナーで放送している内容と同じで、大変広報効果があると感じている。

自宅のテレビだけでなく、様々な場所で活用でき良いと思う。

【警察】

近年、NHKなどのマスコミでは、特殊詐欺が社会問題となる犯罪であると捉え、最新の手口を紹介して注意喚起する広報を積極的に行っている。

このため、社会全体の関心が高くなってきており、特殊詐欺を看破される方が多くなっている。



デジタル機器を活用した特殊詐欺防止広報

特殊詐欺防止には、視覚に訴える形で最近の手口を伝えていくことが効果的で、様々な機会、機材を活用して対応していきたい。

【委員】

スポーツジムに通っているが、特に午前中は高齢者が多く集まる場所である。特殊詐欺防止のチラシは見かけないので、このような場所にも広報チラシを置くと利用者が手に取って読むと思うので、検討願いたい。

【警察】

スポーツジム等の施設にも置けるよう検討する。

【委員】

特殊詐欺防止の画像は、公民館でも流すようにしてもらえないのか。

私の地区の公民館では、地区の行事案内や地区イベントの写真を玄関先に設置されたテレビで随時映像が流されていたと思うので、そこに、今回の広報内容や映像を流すことはできないのか。

【警察】

今後、市役所や公民館などに確認して、良い方策を検討する。

ウ 災害モニタ及び災害装備資機材の見学

【委員】

災害装備資機材にかかる訓練はどのように行っているのか。

【警察】

梅雨時期や台風シーズンの前等に関係機関と連携した合同訓練を行っている。また、11月から12月には、雪害に対する訓練も実施予定である。

災害シーズンを見越して、事前に習熟訓練を行っている。

【委員】

私の地区では、祭りや行事に合わせて、1年に2回必ず資機材の点検や訓練を行っている。また、女性も訓練に参加している。

参考であるが、発電機、照明、テント等は、祭りの機材として活用することで、訓練と機材の習熟を合わせて行っている。

【警察】

効果的な訓練として、参考にさせてもらう。

【委員】

災害時に市民が鯖江警察署へ画像を送信するためには、送信する前に署のメールアドレスを打ちこむか、署のホームページを開く作業が必要である。

可能であれば、QRコードを作り、区長などに配布して



災害装備資機材の視察状況

おけば災害時にすぐに対応できるのではないか。

【警察】

アドレスのQRコードは作ることは可能である。

今後、災害モニタの運用も含めどのように活用できるか検討する。

【委員】

災害モニタの活用方法としては、事案があった場合に報告するためのものという考えで良いのか。

緊急の場合は110番通報で良いのか。

【警察】

過去には、機動隊を出動させても冠水等によって通行不可能な道路が分からず、現場到着に相当の時間を要したことがあった。道路の損壊や冠水状況が分かれば、最短の迂回措置が可能となるほか、胴つき長靴を装着すれば活動ができるなど、現場の写真があれば様々なことが判断できるようになる。このように、災害モニタは、現場に応じた通行経路や救出活動が展開できるためのものとの趣旨であることを理解してほしい。

参考として、110番システムが10月1日から更新され、全国的に画像を送信することが可能となった。具体的な運用方法は、110番の指令室から了解を得た方に対してアドレスを送信して写真を送付するものである。

事件事故に関しては、プライバシー問題もあることから、当事者の了解を受けて、データを送ってもらうシステムになっている。

エ その他

【委員】

特殊詐欺について、受け子である末端が捕まっているようだが、元締めである主犯格への捜査はどうなっているのか。

お金が動くので、お金をたどって行けば、上層部につながるのではないか。

【警察】

受け子は使い捨てであり、捕まっても組織の痛手にはならず、次から次へと新しい受け子を手配するだけである。

主犯格は、都市部にいることがほとんどであり、当県では受け子を徹底的に捕まえることが、福井県では必ず捕まるとの認識を植え付けさせて、県内に入らせないという強い想いで捜査している。

当然、上層部との繋がりが判明すれば、突き上げ捜査を行って、徹底検挙していく。

組織側は、裁判の過程などで警察の捜査方法を熟知しており、対策を取ってより捕まりにくい手法に随時変えている。

お金に関しても、足のつかない方法で受渡しをするなど、捜査が及びにくいケースが多い。